

# 10月

## 経験年数3年未満

# SUP帰還不能3件発生!!

SUPを安全に楽しむために

- ◎ライフジャケットの着用
- ◎リーシュコードの装着

- ◎連絡手段の確保  
(防水パック入り携帯電話)



もしものときは  
118番を!

- ◎天気予報の確認

こまめにチェック!



気象・海象の



## あなたのSUP大丈夫?

インフレータータイプは、使用しない場合は、折り畳んでおき、使用時にポンプで空気を入れて膨らまして使用しますが、海上でSUP中にバーストしたり接着部分が剥離し空気が抜けてしまう事故が発生しております。



接着部分の剥離

必ず海に出る前に空気漏れがないか  
入念に確認してください。

ウォーターセーフティガイド (SUP編)

事故防止のための情報  
(ウォーターセーフティガイド)  
を発信する総合安全情報サイト



Water Safety Guide

発行: 小型船舶の事故防止に係る関係機関連絡会  
(事務局): 海上保安庁  
第四管区海上保安本部)

ウォーターセーフティガイド

検索

ウォーターセーフティガイド

Water Safety Guide

海上保安庁



海の安全情報スマートフォン用サイト →  
(こちらから登録してください)

海の安全情報  
Maritime Information and Communication System



# SUPを安全に楽しむために

ライフジャケット

パドル

リーシュコード



風の影響による

遭難が多発しています！

穏やかな水面で

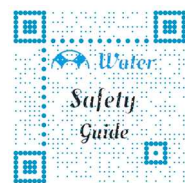
楽しみましょう！

(一社)日本サップヨガ協会  
理事長 田中 律子

安全推進団体で必要な知識・技能を身につけよう！

S U P 安全推進宣言

私たちは、SUPの事故ゼロを目指し  
必要な安全対策を実施しています。



Water Safety Guide

S U P 安全推進プロジェクト Since March 15<sup>th</sup>, 2022

安全推進団体：(一社)日本SUP指導者協会、日本SUP振興会、(一社)日本サップヨガ協会、(一社)日本スタンドアップパドルボード協会、  
(五十音順) (一社)日本セーフティパドルリング協会、日本レクリエーションカヌー協会、Paddler Japan  
関係省庁及び団体：海上保安庁、スポーツ庁、水産庁、国土交通省、(一財)日本海洋レジャー安全・振興協会

**○経験年数3年未満、風速5m/s以上、波高0.5m以上で遭難に至る可能性が高くなっています！**



**天気予報をチェックしよう。**

**○状況(季節や水温)に応じて、適切な装備を選びましょう。**

**SUPの基本4点セット**



ライフジャケット

体型に合ったサイズを選ぶ。チャック、バックル、ベルトをしっかり締めよう。周囲の船や陸から見つけやすい目立つ色(黄、オレンジ等)を着用しよう。

周囲への注意喚起手段

詳しくはコチラ



Water Safety Guide

適切な長さにしよう。



パドル

濡れても使える緊急連絡手段



携帯電話(防水)

ボードと離れないための必需品



リーシュコード

**体の保温・保護等**



マリンシューズ



ウェットスーツ

熱中症、紫外線等防止対策



帽子

水分補給を忘れずに



サングラス



水筒

**○インフレーター(膨張式)SUPボードの注意点**

- ▶ 適正な空気圧にしましょう。
- ▶ エア漏れがないかチェックしましょう。



※安全推進団体のHPは、下記のQRコードから確認できます。



日本SUP指導者協会



日本SUP振興会



日本サップヨガ協会



日本スタンドアップパドルボード協会



日本セーフティーパドリング協会



日本レクリエーションルカヌー協会



Paddler Japan